

長生堂製薬株式会社による吉富製薬株式会社(東証一部)の一部製品の製造承継

(覚書締結時期) 1995年8月

(当社の立場) 双方企業への提案と双方からの依頼による仲介

(案件の意義)

吉富製薬は主力工場である吉富工場のラインの大型化に伴い、少量ロット生産の薬品については、コスト上非効率的となってきた。一方、百数十品目の少量多品目生産体制である後発医薬品メーカーの長生堂の生産コストは低く、新工場建設に伴い生産能力も高くなっていた。こうした両社の現状より、生産委託による提携を提案するが、交渉の発展により製造承継を行うこととなった。販売は従来通り吉富製薬。